

つくば防災科学技術研究所の視察

平成30年度の六会地区防災リーダー連絡会視察研修会は、1月23日（水）茨城県つくば市の国立研究開発法人 防災科学技術研究所を視察しました。各自治会からの防災リーダーを中心に22名の方が参加しました。

防災科学研究所とは、防災科学技術に関する基礎研究及び基盤的研究開発、それらに係る成果の普及及び活用の促進等の業務を総合的に行い、防災科学技術の水準の向上を図り、成果の防災対策への反映を図ることにより、「災害から人命を守り、災害の教訓を活かして発展を続ける災害に強い社会の実現を目指す」ことを目標としています。



大型降雨実験施設で説明を受けています



地震ザブトンに座り、揺れを体感しています

見学したのは、大型耐震実験施設と大型降雨実験施設で日本最大級の規模の大きさ、その実験内容が災害対策に活かされている事を実感することができました。

また、一人用の地震ザブトンに座り、モニターの室内の家具や本の散乱の様子を見ながら、阪神淡路大震災の震度7の揺れを体感しました。

災害大国日本、メガ災害は今年も全国の何処かに発生するかもしれません。普段からの備えが重要です。

救命救急講習会の開催

12月2日（日）六会市民センターの体育室にて、救命救急講習会が開催されました。24名の方が参加し、プロジェクターによる遠藤救急隊員の救命手当の基礎知識について視聴しました。その後3班に分かれて、ふじさわ救命普及推進会の3名のインストラクターの指導のもと、一次救命処置の手順に沿って、心肺蘇生法とAED操作法を実体験しました。



救命手当の基礎知識を勉強しています

